

令和7年度鹿児島県がん診療連携協議会議事要旨

1. 日 時：令和 7年11月17日（月） 16：00～ 17：20
 2. 会議形式：オンライン（Zoom）会議
 3. 場所：大学病院A棟6階第三会議室
- 出 席 者 石塚賢治センター長、鈴木紳介副センター長、水野圭子副センター長、有馬志穂、大塚隆生
菅原英輝、伊藤宗一朗
- Web参加者 道園久美子、小林裕明、岡本康裕、奥井達雄、原之園さつき、豊田雅彦、榎田英樹
行政・患者会・拠点病院等（令和7年度鹿児島県がん診療連携協議会出席者一覧のとおり）
- (陪 席) 田畠真由美、川窪裕加、落瞳、永吉莉那、磯脇 玉美、西之園直記、福留仁実、鮎川秋徳

4. 開会挨拶

開会に先立ち、石塚センター長、鹿児島県保健福祉部健康増進課の園田課長の挨拶があった。

石塚センター長より、2040年に向けて如何にがん医療を維持するかという観点から地域医療構想会議を中心に集約化の議論が始まるが、具体的には県内の多数の医療機関で対応できる医療行為が集約化の対象となるとの発言があった。

また、がん診療連携病院等の整備に関する指針の改定により、県と拠点病院等が協働して県がん診療連携協議会を設置し、都道府県は地域の医療提供体制を維持・確保する観点から地域医療構想や医療計画との整合性を図ることとされたことから、これまで拠点病院（本院）が中心的な役割を担っていたこの協議会の運営は、どちらかというと県に重点が移ったことの補足があった。

本県は離島も抱えており集約化の議論は容易ではないと思われるが、この協議会において県と拠点病院が相談しながら地域の課題解決に向けすべての拠点病院等の協力のもと議論を深めたいとの発言があった。

続いて、園田課長より、2040年に向けたがん医療提供体制の均てん化及び集約化に関する議論の必要性について、これは国の方針であり、これまでがん診療連携協議会は県がん拠点病院が主体となっていたが今後は県と県がん拠点病院が協働して運営し、地域の実情に応じたがん医療の均てん化と集約化の議論をすべての拠点病院等で進めることとなったとの説明があり、構成員への協力要請がなされた。

5. 議題等：

1) 第18回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会（7月11日開催）の報告

(1) 2040年を見据えたがん医療の均てん化・集約化について

鈴木副センター長より、「がん診療提供体制のあり方に関する検討会の経過報告」【資料1-1】が、「データと戦略的議論から導くがん医療提供体制へ処方箋－集約化も含めた地域最適の追求」【資料1-2】が、「タスクフォースの設置についての報告」【資料1-3】が行われた。

(2) 規約改定について

鈴木副センター長より、「国協議会の規約改定」に関する報告【資料2】が行われた。

(3) 部会からの報告

①永吉診療情報管理士より、がん登録部会からの報告【資料3-1】が行われた。

②川窪看護師より、情報提供・相談支援部会からの報告【資料3-2】が行われた。

③田畠看護師長より、緩和ケア部会からの報告【資料3-3】が行われた。

2) 第19回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会（9月25日開催）の報告

鈴木副センター長より、「がん診療提供体制のあり方に関する検討会の経過報告」【資料4-1】が、「持続可能ながん医療提供体制の構築に資する国立がん研究センターによる技術的支援」【資料4-2】について報告が行われた。

2. 都道府県がん診療連携拠点病院等の機能および連携の強化に向けた取組み

鈴木副センター長より、(1)「がん診療連携拠点病院等の整備のための評価指標を用いたがん診療の評価に資する研究（国立病院機構九州がんセンター名誉院長・藤也寸志先生）」【資料5-1】が、(2)「これから都道府県がん診療連携協議会の運営について一沖縄県がん診療連携協議会を例に（琉球大学病院がんセンター特例准教授・がんセンター長・増田昌人先生）」【資料5-2】【別添】についての報告が行われた。

3. 鈴木副センター長より、「7月意見交換会の報告及びタスクフォースの進捗状況について」の報告

【資料6】が行われた。

タスクフォースの構成員（14人）に本院の石塚センター長も参画しており、今後、技術的支援、地域課題、情報発信などを進めていくとの説明があった。

3) 各部門からの報告

①川窪看護師より、がん相談・連携部門の活動報告として、令和7年度のWG活動内容の報告等に加え、令和8年2月14日に鹿児島県がん診療連携協議会 がん相談支援部門会主催で開催予定の「令和7年度第12回九州・沖縄ブロック地域支援フォーラム in鹿児島」について説明があった。【資料7-1】

②田畠看護師長より、がん緩和医療部門の活動報告として、緩和ケア部門の課題及び取り組み、第1回4部門合同研修会、地域連携会議WG活動、今後の活動等について説明があった。【資料7-2】

③永吉診療情報管理士より、がん登録部門の活動報告として、がん診療拠点病院等の指定要件（院内がん登録関連）、研修会、WG活動、2023施設別全国集計結果等について説明があった。【資料7-3】

また、有馬がん登録部門長より、2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化及び集約化に関する議論を進めるにあたり国からの技術的支援の一環として県に提供された「厚生労働省・国立がん研究センターからのデータ」について情報共有がなされた。【資料7-3、別添】

④鈴木副センター長より、化学療法部門・ゲノム医療部門の活動報告として、化学療法室の利用状況、エキスパートパネル開催状況、がんゲノムプロファイル検査状況、遺伝カウンセリングの状況、臨床試験に組み入れられた症例等について説明があった。【資料7-4】

4) その他

①石塚センター長より、令和6年度がん診療連携クリティカルパス発行状況表【資料8】の報告が行われた。

6. その他（意見・質問等）

(1) 地域での緩和ケア（拠点病院以外の医療機関や施設との連携）について

NPO法人がんサポート鹿児島の三好理事長より、緩和ケアの均てん化・集約化に関して離島などなかなかサービスが届かない部分もあり難しいと認識している。

その様な中で今回の指針の改正に伴い、今後行政が協議会に積極的に関わることを患者の立場として期待しているが、緩和ケアに限らず行政がどのような形で取り組んでいくのかとの質問があった。

園田課長より、この協議会においてどのように進めていくのか検討する形になる、緩和ケアについては部門会が設置されているのでそこで意見交換させていただきたいとの発言があった。

7. 閉会挨拶

鈴木副センター長より、「今後患者さんが減っていき集約化が必要、医療の質を落とさずに無駄な医療費を削減することが 2040 年を見据えた持続可能ながん医療の提供につながると思われるが、皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶がなされ、閉会となった。

令和7年度 鹿児島県がん診療連携協議会 出席者一覧

機 閣		病 院 名	出 席 者	
1 行政		鹿児島県保健福祉部健康増進課	課長 園田 英信	がん対策係 係長 家村 めぐみ、主査 木原 宏
1 患者会		NPO法人 がんサポートかごしま	理事長 三好 純	
1 都道府県 がん診療連携拠点病院	鹿児島大学病院	がん先端医療センター長 石塚 賢治	がん先端医療センター副センター長 診療企画・ゲノム部門長 鈴木 純介	
		がん登録部門長 有馬 志穂	緩和ケアセンター 副センター長 水野 圭子	
		がん相談・連携部門長 道園 久美子	他 事業担当者	
1	地域がん診療連携拠点病院	鹿児島市立病院	副院長 堀 剛	事務 田丸 康祐
2		独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター	副院長 松崎 勉	経営企画室長 田中 仁志
3		公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院	院長 濱崎 秀一	緩和ケア内科部長 大瀬 克広
4		社会福祉法人恩賜財団 済生会川内病院	院長 崎山 敏男	
1 特定領域 がん診療連携拠点病院	社会医療法人博愛会相良病院	欠席		
1	地域がん診療病院	県立薩南病院	院長 三枝 伸二	地域連携室副室長 米島 祥子
2		公益社団法人 出水都醫師会広域医療センター	副院長 柳 政行	事務部長 尾上 博美
3		国立病院機構南九州病院	副院長 東元 一晃	経営企画室長 丹後田 孝一
4		県民健康プラザ鹿屋医療センター	外科部長 濑戸山 徹郎	
5		県立大島病院	副看護師長 中屋 真由美	
6		社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター	院長 高尾 尊身	経営企画改善室室長 戸川 英子
9		霧島市立医師会医療センター	院長補佐 柳 正和	薬剤部長 岸本 真
1		公益社団法人鹿児島共済会南風病院	医師 島岡 俊治	看護師 義岡 ゆう子
2	県がん診療指定病院	鹿児島厚生連病院	院長 徳重 浩一	副院長兼外科統括部長 迫田 雅彦
3		公益財団法人慈愛会今村総合病院	院長 常盤 光弘	
4		鹿児島市医師会病院	院長 大迫 政彦	
5		社会医療法人聖医会サザン・リージョン病 院	院長 奥村 浩	診療情報管理士 加治屋 武
6		国立病院機構指宿医療センター	副院長 宮薗 太志	
7		公益社団法人川内市医師会立市民病院	薬剤師 田邊 徹	
8		出水総合医療センター	院長 花田 法久	
10		鹿児島県立北薩病院	欠席	
11		医療法人德州会 大隅鹿屋病院	医師 西元 嘉哉	診療場管理士 回 智子
12		曾於医師会立病院	看護師 山迫 智美	MSW 橋元 亜衣
13		社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院	医師 衣斐 勝彦	
14		医療法人青仁会 池田病院	院長 中嶋 秀人嗣	
15		医療法人真栄会 新村病院	院長 新村 真司	事務長 坂本 貴宏